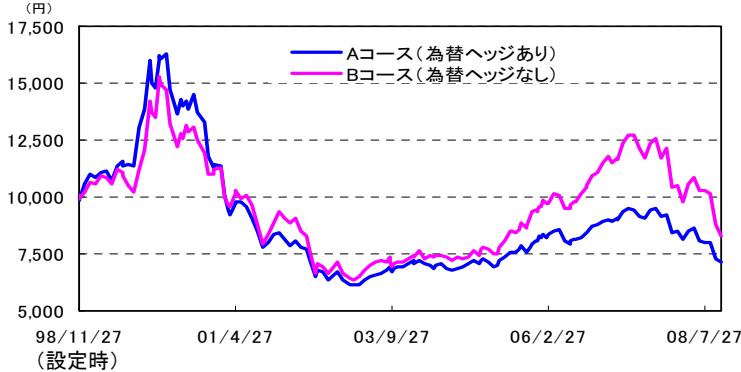


ニッセイ／パトナム・グローバル株式オープン

(追加型株式投資信託／国際株式型(一般型))

◆基準価額の推移



※上記基準価額は信託報酬(純資産総額に対し年率1.995%(税込))控除後のものです。
※上記グラフはあくまで参考データとする目的で過去の実績を示したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

◆基準価額の騰落率(税引前分配金込み)

	1か月間	2か月間	3か月間	6か月間	1年間	2年間	3年間	設定来
Aコース	-2.83%	-13.00%	-13.42%	-19.73%	-29.37%	-21.79%	-6.92%	-28.60%
ベンチマーク	-15.12%	-24.13%	-23.45%	-30.47%	-38.80%	-32.44%	-22.78%	-29.45%
Bコース	-6.71%	-21.55%	-22.76%	-25.21%	-36.44%	-25.74%	-5.04%	-16.99%
ベンチマーク	-24.93%	-35.29%	-35.94%	-39.62%	-50.39%	-41.23%	-28.25%	-19.61%

※ベンチマーク: <Aコース>MSCIワールドインデックス(円ヘッジベース) / <Bコース>MSCIワールドインデックス(円換算ベース)です。当社で独自に指数化したものをもとに算出しています。
※MSCIワールドインデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
※上記の騰落率は、あくまで参考データとする目的で過去の実績を示したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。
※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

◆投資環境

米国株式市場は、金融市場における信用危機や世界的な景気後退への懸念が強まって月初より大きく売られ、8日の各国中銀による緊急協調利下げ後も下落が続きました。中旬には、欧米各国による金融機関への公的資金注入などから一時上昇しましたが、その後も弱い経済指標や企業業績発表が相次いで、株価は軟調に推移しました。月末にかけては短期金融市場の流動性改善や追加的な政策期待などから買い戻されたものの、結局、前月末比で、NYダウは-14.1%の9,325ドル、S&P500は-16.9%の969ポイント、ナスダック総合指数は-17.7%の1,721ポイントとなりました。

欧州株式市場は、信用危機や世界的な景気後退への懸念の強まりから月初より下落し、8日の各国中銀による協調利下げにもかかわらず、その後さらに下落幅を拡大する展開となりました。中旬に入って欧米各国による金融機関への公的資金注入等から一時上昇しましたが、その後は弱い欧米経済指標などが相次いで再び売られました。月末にかけては追加的な政策期待等から買い戻されたものの、結局、前月末比で、イギリスは-10.7%の4,377ポイント、ドイツは-14.5%の4,988ポイント、フランスは-13.5%の3,487ポイントとなりました。

国内株式市場は大幅下落となりました。欧米の景気後退が鮮明になりつつあり企業業績の悪化懸念が強まる中、為替が急激に円高方向へ振れたこともあり、輸出関連株を中心に軟調に推移しました。月末には企業の間接決算が相次ぐ中、大手銀行の増資計画が悪材料視され一部の金融関連株も大幅下落となり、日経平均株価は2003年4月のバブル経済崩壊後最安値を割り込んで1982年10月以来26年ぶりの安値を記録しました。その後、日銀の利下げを含む世界各国の相次ぐ金融対策や各国政府の景気対策などを受けて多少反発し、結局、日経平均株価は前月末比-2,682.88円、月末終値は8,576.98円となりました。

◆ファンドの状況

当月は、2008年11月15日の償還に向けて、株式の売却を完了しました。
世界的に株価が大幅下落したものの、保有銘柄の現金化を進めたことから、Aコース(ヘッジあり)の基準価額は前月末比-164円となりました。Bコース(ヘッジなし)は円高進行の影響から前月末比で-478円となりました。

◆今後の運用方針

2008年11月15日の償還に向けて、組入資産の大部分については円資金化しています。そのため、市場変動が基準価額に与える影響は小さくなっています。

この度は、当ファンドにご投資いただき、誠にありがとうございました。今後ともニッセイアセットマネジメントの商品を末永くご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆基準価額等

Aコース(為替ヘッジあり)		Bコース(為替ヘッジなし)	
基準価額	5,640円	基準価額	6,651円
前月末比(*)	-164円	前月末比(*)	-478円
純資産総額	0.3億円	純資産総額	0.4億円

(*)決算日到来月に分配金支払実績がある場合、分配金込みで算出。

◆分配実績(税引前)

設定来累計額	Aコース: 1,500円	Bコース: 1,650円				
	第1期~第4期累計 (99/11~02/11)	第5期 (03/11)	第6期 (04/11)	第7期 (05/11)	第8期 (06/11)	第9期 (07/11)
Aコース	1,500円	0円	0円	0円	0円	0円
Bコース	750円	0円	0円	0円	100円	800円

※運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・当ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドは投資元本の保証や一定の成果は約束されておりません。当ファンドの基準価額に影響を与える主なリスクは後述の「ファンドが有する主なリスク」をご覧ください。
・ご購入の際は必ず取扱販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお受け取りになり、必ずファンドの仕組みやリスク等の内容をご確認の上ご自身でご判断下さい。

ニッセイ／パトナム・グローバル株式オープン

追加型株式投資信託

【手数料等】（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

お申込手数料 : お申込手数料(1万口当り)は、各取扱販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を取得申込日の翌営業日の基準価額にかけて得た金額とします。手数料率の上限は3.15%(税込)※です。
※各取扱販売会社が定める申込手数料率の最高値です。また、手数料率は変更される場合があります。

換金手数料 : 当ファンドには換金(解約)手数料はありません。

信託財産留保額 : 1万口につき解約請求日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた金額とします。

信託報酬 : 純資産総額に対して、年率1.995%(税込)の率をかけて得た金額とします。

監査報酬 : 純資産総額に対して、年率0.042%(税込)の率をかけて得た金額を上限とします。

その他費用 : 証券取引に伴う手数料等、信託事務の諸費用、借入金の利息を間接的にご負担いただきます。当該費用の金額、その上限額および計算方法は、運用状況および保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

手数料等の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

【ファンドが有する主なリスク】（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 当ファンドは、主に国内外の株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、Bコース(為替ヘッジなし)は為替の変動を直接受けることにより、損失を被ることがあります。Aコース(為替ヘッジあり)は原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動による影響の低減を図ります(ただし、為替ヘッジを行うにあたりヘッジコストがかかります。)
- したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株式投資リスク」、「カントリーリスク」、「為替変動リスク」、「国別配分リスク」、「流動性リスク」などがあります。
- 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「I ファンドの基本情報 3 ファンドのリスクおよび留意事項」をご覧ください。

【ファンドの特色】（詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 世界の主要な株式市場を投資対象に、徹底したリサーチに基づいて銘柄選択を行います。
- リスク管理を徹底します。
- ザ・パトナム・アドバイザー・カンパニー・エルエルシーが運用を行います。
- 為替ヘッジあり、なしの2コースが選択できます。

【ご投資にあたっての留意点】

- 当資料は、ファンドに関連する情報および運用状況等についてお伝えすることを目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。金融商品取引法等に基づく開示資料ではありません。

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託はリスクを含む商品です。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）はすべて投資家の皆様のもとなります。元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当ファンドは値動きのある有価証券等に投資します（また、外国証券にはこの他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドは投資元本の保証や一定の成果は約束されておりません。当ファンドの基準価額に影響を与える主なリスクは「ファンドが有する主なリスク」をご覧ください。
- 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますので、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。運用状況によっては、分配金をお支払いできない場合もあります。また、分配金は投資信託財産からお支払いしますので、基準価額が下がる要因となります。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金と異なり、保険契約者保護機構、預金保険の対象となりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払い対象にはなりません。
- ご購入の際には必ず取扱販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお受け取りになり、内容をご確認の上ご自身でご判断ください。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

販売会社

設定・運用



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

（社）投資信託協会会員／（社）日本証券投資顧問業協会会員

ニッセイアセットマネジメント株式会社ホームページ（ホームページアドレス <http://www.nam.co.jp>）

ニッセイアセットマネジメント株式会社コールセンター（電話番号 0120-762-506）

※受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで

【取扱販売会社一覧】

取扱販売会社名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第6号	○	—	—
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第2号	○	—	—
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第5号	○	—	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第33号	○	—	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	—	○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第53号	○	○	—
新光証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第94号	○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第24号	○	—	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	—	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第167号	○	—	—

※上記の販売会社は今後変更となる場合があります。

また、販売会社によっては、新規のお申し込みを停止している場合もあります。

詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。